

令和4年度第2回江別市学校給食会理事会議事録（概要）

日 時	令和4年10月31日（月）15時00分～15時25分
場 所	江別市立学校給食センター 研修会議室
出席理事	中村理事長、伊藤副理事長、伊藤監事、田中理事、早川理事、赤井理事、草野理事、川除理事（8名）
欠席理事	長谷川監事、齋藤理事、三浦理事（3名）
事務局	根廻事務局長、八木橋事務局次長、吉田事務局員（3名）
関係部局	佐藤教育部次長
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 理事長挨拶 3 議事 報告事項第1号 江別市学校給食費について 4 その他 5 閉会
配布資料	・ 次第 ・ 報告事項第1号 江別市学校給食費について

▼会議内容

【開会】

（司会：根廻事務局長）

ただ今から、令和4年度 第2回江別市学校給食会理事会を開催いたします。  
本日はお忙しい中、当理事会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。  
私は江別市学校給食会の事務局長を務めております、給食センター長の根廻でございます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

本日の議事につきましては、

報告事項第1号 江別市学校給食費について

となっておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

なお、当理事会は、会則第9条第2項において、理事の過半数の出席をもって成立することとなっておりますが、現時点で、11名のうち、8名の出席がありますので、理事会が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは次第に従いまして進めさせていただきます。

【理事長挨拶】

（司会：根廻事務局長）

まずは、次第の2「理事長挨拶」について、中村理事長からご挨拶を頂戴したいと思います。

（中村理事長）

皆さん、こんにちは。

10月になり、小中学校では後期に入ったということで、直近では文化的な行事があり、準備に忙

しいのではないかとされます。

その中で7月に続いて、本日皆さんにお集まりいただきました。

皆さんの耳にも入っていることかと思いますが、現在、「物価高騰」ということで、給食費はどのようになるのか、という心配があるかと思えます。

その点について、本日事務局から報告いただき、内容を確認していきたいと考えております。

気が重い話となるかと思いますが、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

どうぞ、よろしく願います。

(司会：根廻事務局長)

中村理事長、ありがとうございました。

それでは、ここで配付資料の確認をさせていただきます。

本日、お手元にお配りしました資料は、

- ・ 次第
- ・ 報告事項第1号 江別市学校給食費について

でございます。

不足等ございましたら、事務局にお申し出ください。

(不足等なし)

これ以降の議事の進行につきましては、理事長に交代させていただきます。

中村理事長、よろしく願います。

(中村理事長)

議事に入る前に、江別市学校給食会理事会の公開について、事務局から説明をお願いします。

(根廻事務局長)

市では、江別市情報公開条例第18条の規定により、市民の市政への参画を促進するとともに、公正で透明な市政を推進するために、審議会等は支障のない限り公開を原則としており、この理事会でも傍聴者を認めております。

しかしながら、本日は傍聴希望者はおりませんので、以降の説明は省略いたします。

また、会議の議事概要として、発言内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたしますので、ご了承いただきたいと思えます。

## 【議事】

(中村理事長)

それでは次第の3「議事」に入ります。

報告事項第1号「江別市学校給食費について」、事務局から説明願います。

(八木橋事務局次長)

「報告事項第1号 江別市学校給食費について」ご説明いたします。

お手元の資料をご覧ください。

まずは、「1 現状」でございますが、昨今の物価高騰により、小麦製品や食用油をはじめとした原材料費が上昇しており、献立設定に苦慮するなど、給食会計に多大な影響を及ぼしている状況でございます。

令和4年度は、江別市から補助金の交付を受け、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った給食を提供しているところでございます。

今後、物価高騰は続くものと見込まれる中、当市の学校給食にて使用している食品256品目について、令和3年4月と令和4年10月の契約単価を比較したところ、一部品目においては、月ごとに価格変動が見られるものの、全体の平均で約4.33%の上昇となっております。

上昇率の高いものとしましては、麺やパンなどの小麦製品や食用油、一部野菜であり、特に主食の麺類については、平均約37%の上昇率となっております。

次に、「2 現行単価の内訳の推移」でございますが、まずは、当市の給食費単価の考え方につきまして、一食の単価は、主食費・副食費・牛乳費に区分されており、毎年度当初に主食費・牛乳費が北海道給食会などで決定された後、これらを給食費の一食単価から差し引き、副食費を算定しているものであり、年々上昇する主食費・牛乳費により、副食費は圧迫される形となっておりますが、献立の工夫等により副食費を抑えることで、一食単価を維持しているところでございます。

下記の表でご説明いたします。右から4番目の列、一番下の「差額」欄をご覧くださいますと、令和2年度と令和4年度における各費用を比較した場合、例えば小学校低学年では、主食費が3.18円、牛乳費が1.57円上昇しており、代わりに副食費が4.75円下降しており、既に給食会計を圧迫する状況となっております。

続きまして、資料の裏面をご覧ください。

「3 令和4年度の収支見込み及び令和5年度の収支推計」でございますが、当年度、交付を受けた補助金を算出する際に用いた、総務省統計局公表の食料全般に係る消費者物価指数から推計した場合、令和4年度における給食会計の収支見込み及び令和5年度における収支推計は、下記の表の通りとなるものと考えております。

なお、令和4年度につきましては、原材料費の高騰対策として、市からの補助金2,548万5千円の交付を受けたところですが、令和5年度におきましては、このような補助がないものとして収支差額を算定した場合、最大4,711万6千円の支出超過が見込まれるものと考えられます。

表の説明となりますが、令和4年度の収支ですが、収入額は、給食費収入5億2,112万9千円に、当年度、市から交付を受けた補助金である2,548万5千円を加えた5億4,661万4千円となる見込みでございます。

これに対し、支出額は、主食費、副食費、牛乳費及び代替品費を合わせた5億4,524万1千円となり、差額は137万3千円となる見込みでございます。

次に、令和5年度の収支ですが、収入は、給食費収入のみであり、現時点では令和4年度の金額を暫定的に計上するものとし、5億2,112万9千円となる見込みでございます。

これに対し、支出額は5億6,824万5千円となり、差額はマイナス4,711万6千円となる見込みでございます。

再度のご説明となりますが、この金額は、現時点で推計する最大のものを記載しており、今後、節減に努めることで減少となる部分があるものと見込んでおります。

次に、「4 今後の対応」でございますが、これまでご説明した状況から、給食費について早急に検討を要するものと考えられますが、現在、国が光熱費抑制策や、地方の物価高騰対策支援を含めた総合経済対策の検討を進めている状況であることも勘案し、今後、物価高騰に一定の落ち着きが見られるなど、時期を見極めたいうで、改めて検討する必要があるものと判断いたしました。

その一方で、令和5年度の収支推計は、非常に厳しいことが見込まれており、引き続き献立の工夫などにより、原材料費の節減を図るとともに、継続して市と対応についての協議を行ってまいります。説明は以上です。

(中村理事長)

事務局から説明がありました。質疑ございませんか。

(草野理事)

事務局からの説明で、現時点では給食費を改定しないということでしたが、現在、食品価格が高騰している中で、給食費を値上げすることなく、子どもたちにしっかりと給食が提供できるのか不安なところがあります。

工夫をされて副食費の減額に努めているとのことですが、その辺を含めまして、給食会の会計が本当に大丈夫なのかな、と少し不安なところがありますので、説明をお願いします。

(根廻事務局長)

先ほどの説明にもありましたとおり、昨今の物価高騰による食品価格の上昇により、給食会計に多大な影響を及ぼしているところであり、今後も献立設定に苦慮することが予想されます。

しかしながら、物価高騰が継続し、今後の見通しが見えないこと、さらに国が様々な物価対策を検討していることなどを踏まえ、今の時点で給食費を改定することは、困難であると考えております。

給食費を値上げせずに大丈夫か？とのご質問ですが、来年度、給食費会計を維持していくための国の交付金やその他の支援などにつきましては、確約的なものがある訳ではないことから、現時点では単価を据え置くこととし、今後見込まれる不足部分については、当年度と同様の補助金を受けることができないかなど、市との協議を進めてまいりたいと考えております。

なお、過去の給食費改定においては、保護者の皆様にご理解いただく必要があることから、4か月から5か月程度の一定の周知期間を経て、改定を実施しております。

そうした周知期間を考慮しますと、少なくとも、来年4月以降においても、現行単価を据え置くこととなるものと考えております。

理事の皆様におかれましては、こうした事情をご理解いただくとともに、今後の物価高騰の状況、市との協議の状況によっては、皆様にお集まりいただき、改定に向けた協議を改めてお願いすることとなりますので、ご承知置きおきいただきたいと思います。

遅くとも、次回開催を予定する3月の理事会において、例年ご報告しております、当年度の決算見込などと併せて、令和5年度の給食会計についてご報告したいと考えております。

(中村理事長)

しばらくは現状の給食費単価のままということでした。

今年度はもちろんですが、来年度も現行単価のままということで、今後の情勢が変われば別の話となると思いますが、できれば同じ額のまま維持してほしいと思います。

その他に質疑ございませんか。

(早川理事)

現在の物価高騰の中で献立を検討するなど、諸々大変な状況であると聞いております。

その中で主食について、現在、パンを週に二度提供しているところであり、「地産地消」の観点から地元産の小麦を使用したパンを提供したいということも良く分かりますが、小麦価格が高騰しており、米飯よりも主食単価が高くなると思うので、今後のことを考えたときにパンを週に一度にするなどの検討をすべき時期かと思っております。

パンも米飯も同じ加工会社であることを考えると、どうにかできないのかと思っておりますし、根本的に変えていかないと、今後さらに物価が高騰した場合、より困難な状況が訪れるものと思われれます。

特に江別市では、2年前に給食費を増額改定しており、すぐにまた増額するという事は難しいのではないかと思います。

栄養教諭や栄養士には大変なご苦勞をかけることとなると思いますが、抜本的な改革を検討いただきたいと思います。

(中村理事長)

給食のパン提供日を減らすことはいかがか、ということでしたが、事務局いかがでしょうか。

(八木橋事務局次長)

早川理事が仰るとおり、米飯よりもパンの方が主食単価が高くなるということもございます。

週内の主食の回数については、他自治体の状況なども確認したうえで、検討する必要があると考えております。

今後、来年度の給食提供方法について検討すべき時期に、そのようなことも考えていきたいと思えます。

また、「地産地消」の話ですが、確かに小麦は道産のものを使用していますが、米飯も100%江別産のななつぼしを使用しておりますので、米飯の提供回数が増えても「地産地消」ということは達成できるかと思います。

そのようなことも含め、主食の回数や内容につきましては、経費節減ということも考えながら、検討させていただきます。

(中村理事長)

学校給食において、パンの提供回数が定められているわけではないのですか。

(八木橋事務局次長)

定めがあるわけではなく、自治体ごとにパンの提供回数は異なります。

例えば、岩見沢市だとパンの提供が全く無かったりします。

自治体ごとに回数が異なっております。

(中村理事長)

今後、パンの提供回数が変更となる可能性もあるということですね。

配布された資料では、予測された数値なども記載されていますが、これがそのとおりとなるかというところもわからないではあります。

私も実際に栄養教諭と話をしてしましたら、学校給食では食用油を一斗缶で購入するそうですが、この価格が3倍近くまで高騰しており、厳しい状況であると聞きました。

給食を提供する側としては、食品価格が高騰し、大変な状況であると思いますが、その中でも工夫されているということで、これからも努力していく必要があるのではないかと考えられます。

よろしく申し上げます。

その他に質疑ございませんか。

(なし)

(中村理事長)

その他、質疑がなければ、報告事項を承認することとしてよろしいですか。

(異議なし)

【その他】

(中村理事長)

議事が終了しましたが、事務局から、「その他」で何かありましたら、お願いします。

(根廻事務局長)

本日、ご欠席された理事の皆様へは、今回の議事内容を議事録の送付により、お知らせいたします。また、次回の理事会ですが、来年3月に定例の第3回の開催を予定しているところでございます。しかしながら、先ほどもご説明いたしましたとおり、今後、給食費に関連し、緊急的にご協議いただくべき議題が生じた場合には、臨時的に皆様にお集まりいただくこととなることも考えられます。その際には、またご案内させていただきますので、何卒よろしく願いいたします。事務局からは以上です。

(中村理事長)

追加での確認事項なのですが、他の市町村の給食費の状況について、公表できないこともあるかと思いますが、可能な範囲で事務局から説明いただけることはありませんか。

(八木橋事務局次長)

現時点では公表できる段階ではなく、限られた説明となりますが、道内の5万人以上の市の状況を調査しましたところ、令和5年度からの給食費改定を予定している市は、当市を含めた全15市中4市となっております。

具体的な金額については、物価高騰の状況を見て検討するとのことでした。

残りの市について、5市については、改定するかしないかについて検討中、その他の5市については、現状においては令和5年度では改定しないとのことでした。

ただ、今後の状況を見て、物価が著しく高騰するような場合には、覆ることもあるかと考えられます。

(中村理事長)

生々しい情報ですが、一応頭に入れておき、3月の理事会の場でまた改めて皆さんと確認していきたいと思っております。

【閉会】

(中村理事長)

それでは、以上をもちまして、令和4年度第2回江別市学校給食会理事会を終了します。皆さん、お疲れさまでした。

(15:25 散会)